

まえがき

この本を手にとつていただき、ありがとうございます！

東海地区で就活アドバイザーをしています、平野真理子と申します。

南山大学を卒業後、株式会社アドプランナー（広告代理店）に入社。

企業の新卒採用コンサルタントとして、新卒採用に関わる広告の企画制作、説明会コンテンツの企画提案などを行ってきました。

また、企業の面接官に対して「どのような面接をすると学生の本音が見抜けるのか」などの研修講師をしており、「企業はどんな学生が欲しいのか」「どんな視点で学生を選考しているのか」などの事情に精通していると自負しています！

企業の採用活動をお手伝いする一方で、大学4年生のころ、就活支援サークルに所属していた経験もあり、学生の就職活動のサポートを仕事にしたい！という夢を持っていました。そんな私の想いを会社がくみとり、入社5年目に、社内で「学生就職支援事業部 キャリア開発研究所」を立ち上げました。そして、夢だった「学生たちの就職活動の支援」をスタートさせたのです。

主な活動としては、高等学校・短期大学・大学における就職ガイダンスでの講演や就活セミナーの講師、また大学や商工会議所主催の合同企業説明会等の就職相談ブースでのカウンセラーなどを行っています。

例えば、大学1、2年生向けには、「就職を踏まえてどう学生生活を送るといいのか」、就職活動を始める前の3年生には「働くってどういうこと?」という講演をしたり、またちよつと変わった活動では、東海地区の複数の就活サークルのサポーターとして、「将来をイメージするための若手先輩社員との座談会」や「模擬面接のイベント」を企画・運営したり、ここには書ききれないほどの活動をしてきました。また、自社でも、少人数制のオリジナル就活セミナーや就職相談会を実施し、これまで延べ8000人以上の学生と接触してきました。

「企業のキモチ」「学生のキモチ」の両方を知っている私だからこそできる役割がある!

つまり、「入社後のミスマッチや早期退職を減らすためにも、企業、学生、共にお互いのことをよく理解し合う必要があり、その理解する方法を私が伝える!」ということを使命とし、活動してきました。そして、本を通じて、より多くの人にそんな想いを届けられたら! と、この本を書くことに決めました。

今回、「恋愛」というキーワードをタイトルに入れたのは、常日頃から、私は「就活は恋愛と同じ」と感じているからです。

というのも、一見すると、「イメージしにくい」「なんだか難しそう」な感じのする就職活動ですが、

私が関わってきた多くの学生は、「企業にワクワクドキドキ恋をするような気持ち」を持ち、最後には、「この企業、仕事が大好きなんです！」と希望に満ちた表情で入社をしていきました！

そして、社会人になってからも、楽しんで仕事に取り組んでいる姿を見ってきました。

そんな前向きな気持ちを今、この本を手にとつてくださっているみなさんにも持つていただけたらと思っています。

実際に、就活を目の前にした男子学生から、こんなメールをもらったことがあります。

私はN大学3年のI・Kというものです。

5月30日に行われた就職ガイダンスでの、平野さんの話が印象的だったので、メールをさせてもらいました。

私は正直、就職などしたくないという気持ちでいっぱいでした。

そんな中、平野さんの、あなたにとつての「働く」とは？ の講演を聞いて、就活のイメージが自分の中で良くなり、就活を楽しんで乗りきりたいと思うようになりました。

特に、就活は恋愛と同じ！ という格言はとても印象的で、イメージしやすく納得させられました。僕は、平野さんの「就活は恋愛と同じ！」という言葉を胸に、就活を頑張っていけます。

彼が私の講演で変わってくれたように、この本が一人でも多くの学生に、「変化」をもたらして欲しい！ そんな願いを込めて、この本に私のすべてを注ぎたいと思います。